

旭ろうさい病院ニュース

病院情報誌 第 182 号

令和 5 年 10 月 1 日発行

発行所: 旭ろうさい病院

〒488-8585

尾張旭市平子町北 61 番地

TEL 0561-54-3131

FAX 0561-52-2426

高齢者への外科治療について

外科部長 安井 講平



令和 5 年 4 月に外科部長を拝命いたしました、安井講平と申します。

旭ろうさい病院外科は、元々名古屋大学腫瘍外科の医局関連施設でしたが、2021 年より愛知医科大学消化器外科との共同運用が始まりました。現在では外科主任部長の倉橋真太郎医師をはじめ計 5 名の外科常勤医師で日夜患者さんの診療に当たっております。腹腔鏡手術の導入や、大学病院と同等の手術の質を維持することに尽力し、結果的に 2021 年では 338 例、2022 年では 455 件と年々手術件数が増えており、新体制がこの地域の先生方にも浸透しつつあるのではと誠に勝手ながら感じております。

さて、この地域の特色としては高齢者の患者さん、特に 75 歳以上の後期高齢者の患者さんが多いことで、ここ 2 年では手術患者の 43%が後期高齢者となっております。そこで心配になるのが、多岐にわたる併存疾患、耐術能の有無、ADL 低下などがあるかと思えます。ここで当院が行っている高齢者への外科治療への取り組みを紹介いたします。

術前評価

当院は麻酔科を始め、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、脳神経内科、腎臓内科、糖尿病内分泌内科など、総合的に全身評価を行える専門科が揃っております。高齢患者さんが手術に耐えうるか、併存症とのリスク比較、周術期管理についてなど、密に連携をとって病院全体で患者対応を行っております。

腹腔鏡手術

当院ではがん治療、特に胃癌、結腸癌、直腸癌に対して腹腔鏡手術を行っております。また胆石症・鼠径ヘルニア・食道裂孔ヘルニアなどの良性疾患や、胆嚢炎・虫垂炎・腸閉

塞・憩室炎・腹膜炎などの緊急疾患に対しても、患者さんの状態を考慮して腹腔鏡手術を適応しております。最小限の創で手術を完遂させることができ、少ない疼痛で術後の回復も早い事は高齢患者さんにとっては大きなメリットです。当院には内視鏡外科技術認定医という学会認定を受けた医師が2名常駐しており、安全で確実な手術を提供しております。

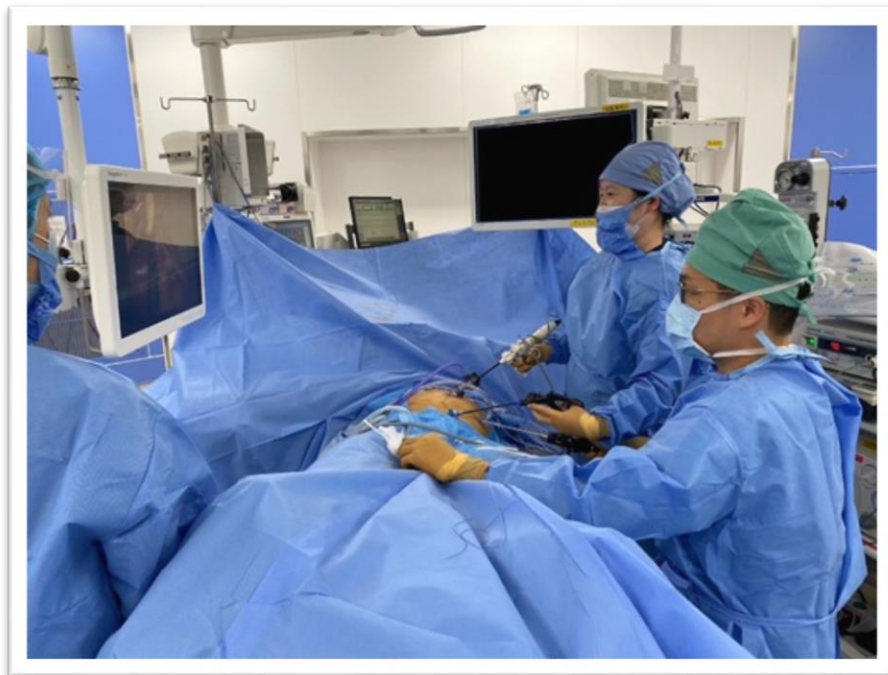
周術期管理

当科では高齢患者さんに対しては術前から退院まで理学療法士によるリハビリテーションを行い、時には栄養療法や言語聴覚士による嚥下訓練を積極的に導入しています。入院中は栄養、認知症、褥瘡のチームが機能します。また特定集中治療室4床を完備し、状態の悪い患者さんを24時間体制で全身管理する準備が常に整っており高い回転率で機能しております。

退院支援

ADLの低下した患者さんや、独居、社会的経済的理由で自宅退院の難しい患者さんに対しても退院後の療養先をチームで検討し、地域との密な連携で円滑に退院支援をおこなっております。

このように、特に高齢者の多い地域性に対応した診療を提供できるよう尽力しており、今後一層に取り組んで参りたいと思います。手術を要する高齢患者さんで、治療について悩まれている場合はまずは当院へお気軽にご相談いただければ、病院全体でしっかりと評価し対応させていただきたいと思います。これからも何卒よろしくお願い申し上げます。



腹腔鏡手術の様子

地域で取り組む手術治療



手術室師長 佐藤 さやか

私たち手術室看護師は「倫理的な判断・配慮のもとに、安全で質の高い手術看護を提供する」という部署目標のもと、多職種と連携し、チームで手術のサポートを行っています。当院では外科・整形外科・泌尿器科・耳鼻咽喉科・眼科・腎臓内科の手術を行っています。時間外・休日の緊急手術にはオンコール体制で対応しています。

2021 年度は 1259 件、2022 年度は 1395 件の手術を行いました。今年度は 7 月累計にて昨年度より 50 件増加していることから、更なる増加が見込まれています。

手術室・中央材料滅菌室のスタッフは師長 1 名・師長補佐 1 名・看護師 13 名・看護補助者 4 名の計 19 名です。院内で使用する器材の洗浄・点検・消毒・滅菌から、手術の準備・術中看護・術後の清掃・器械の片付けまで、様々な業務を行っています。手術中は緊張状態のまま長時間立ちっぱなしでいることも多く、身体的にも精神的にも負担の大きな現場です。大変なこともあります。スタッフはいつも前向きでチームワークがとても良く、笑顔と活



一構成となっており、経験に合わせた知識・技術習得と全体での勉強会を行い、スキルアップに努めています。今年度は、各科の医師による講義や麻酔科医師の協力を得て急変時対応と災害時対応のシミュレーションを予定しています。

手術を受けるということは、患者さんやご家族にとって人生の大きなイベントであり、不安や緊張が伴うものです。そのため、術前訪問や術後訪問を通して、患者さんやご家族の不安や緊張に寄り添いたいと考えています。術前訪問で得た情報は朝のミーティングで情報共有し、患者さんへの声かけや観察に役立てています。また、術後訪問の際にいただいたご意見についても、スタッフ間で情報共有し、次の手術に活かせるよう努めています。最近では「手術後が寒かった」というご意見から、術後の室温調整や保温についてスタッフ間で話し合い、室温を上げるタイミングや空調の向きを確認しました。

手術室看護師は患者さんに関わる時間は病棟と比べて短いのですが、病棟訪問の際にお見かけする患者さんの回復されている姿が、私たちの働く原動力となっています。

これからも常に緊張感を持ちながら、チーム一丸となって地域の皆さまのお役に立てるよう努力していききたいと思います。

